

## ■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 我こそは この国の王なり。
- ② 笛の音 山の方より聞こゆなり。
- ③ 年月を経て、ついに大木となりぬ。
- ④ 庭の桜 いとあはれなり。
- ⑤ かの方は 心やさしき女なり。
- ⑥ 男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。
- ⑦ 鐘の声、夜もすがら鳴りて、いとあはれなり。
- ⑧ 水の音 さやかに 聞こゆなり。
- ⑨ この花の咲くは、まことに春のしるしなりけり。
- ⑩ 沖つ風 いたく吹くなり、舟出すな。
- ⑪ 道のほとり、いと静かなり。
- ⑫ かの聖、徳高き人になりたまへり。
- ⑬ 雀の子の、ねず鳴きするに踊り来る、いとうつくし。
- ⑭ 訪ふ人もなき宿なりけり。
- ⑮ 都には今ごろ雪降るなりと、人の語りき。
- ⑯ かの山は、紅葉の名所なりと聞く。

## ■ 設問 (全22問)

1. 傍線部①「なり」の文法的意味を答えよ。また、そう判断できる根拠（直前の語の品詞・活用形）を簡潔に示せ。
2. 傍線部②「なり」の文法的意味を、次から選べ。  
ア 断定の助動詞 イ 伝聞・推定の助動詞 ウ 動詞「鳴る」の連用形 エ 形容動詞の活用語尾
3. 傍線部②「なり」を、根拠（直前の活用形・判断のよりどころ）に触れつつ現代語訳せよ。
4. 傍線部③「なり」の文法的意味を答え、終止形（基本形）も記せ。
5. 傍線部④「あはれなり」のうち「なり」の正体を答えよ。これは何という品詞の一部か。
6. 傍線部⑤「なり」の文法的意味を答えよ。直前の「女」の品詞は何か。
7. 傍線部⑥「なり」の文法的意味を、次から選べ。  
ア 断定 イ 伝聞・推定 ウ 動詞「成る」 エ 形容動詞語尾
8. 傍線部⑥を含む一文「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。」を現代語訳せよ。
9. 傍線部⑦「鳴り」の文法的意味を答え、その品詞と活用形を記せ。
10. 傍線部⑧「なり」の文法的意味を答えよ。終止形に接続しているか、連体形に接続しているかを示し、判断の根拠（音声が根拠であること）にも触れよ。
11. 傍線部⑨「なり」の文法的意味を答えよ。直前の「しるし」の品詞に注意して、何に接続しているかを説明せよ。

12. 傍線部⑩「なり」の文法的意味を答えよ。直前の「吹く」は何形か。
13. 傍線部⑪「静かなり」のうち「なり」の正体を答えよ。この語全体の品詞を答え、活用の種類も記せ。
14. 傍線部⑫「なり」について、次の小問に答えよ。
  - (1) 文法的意味（正体）を答えよ。
  - (2) その終止形（基本形）を答えよ。
15. 傍線部⑬「鳴き」の正体を答えよ。これは助動詞か、動詞の一部か。
16. 傍線部⑭「なり」の文法的意味を答えよ。直前の「宿」の品詞に触れて根拠を示せ。
17. 傍線部⑮「なり」の文法的意味を答えよ。また「人の語りき」とあることから、断定・伝聞推定のどちらと判断できるか、理由とともに記せ。
18. 傍線部⑯「なり」の文法的意味を答えよ。直前の「名所」の品詞と、文末の「と聞く」に注意して根拠を示せ。
19. 本文①～⑯の傍線部のうち、**断定の助動詞「なり」**であるものをすべて選び、番号で答えよ。
20. 本文①～⑯の傍線部のうち、**伝聞・推定の助動詞「なり」**であるものをすべて選び、番号で答えよ。
21. 断定の助動詞「なり」と伝聞・推定の助動詞「なり」は、どのような点に着目すれば見分けられるか。**接続**（直前の語の活用形）の違いを中心に、一～二文で説明せよ。
22. 伝聞・推定の助動詞「なり」が、断定の助動詞「なり」と異なり**意味の面**でどのような特徴（情報の根拠）を持つか、一文で説明せよ。